

6.4. 購入計画と予測在庫水準を理解する

この文章では□GMDH Streamlineの以下の計算方法を説明します。:

- 今回のオーダー 数量
- 購入計画
- 予測在庫水準
- 安全在庫

計算方法の説明のため、プロジェクト例を利用します。

今回のオーダー 数量

今回のオーダー 数量列がどのように計算されるかを説明するため、在庫レポートテーブルの需要予測セクションを表示します。表示するためには、需要予測オプションにチェックを入れます(下記の図を参照)。

The screenshot shows the '設定' (Settings) dialog box with the '在庫' (Inventory) tab selected. The '需要予測(E)' (Forecast) option is checked and highlighted with a red box. Other options include 'リードタイム', 'オーダーサイクル', '最小ロット(I)', '最大ロット(X)', '丸め(R)', '安全在庫設定', '最小保存数量', '安全在庫負債', '保存期限', '購入単価', '粗利益率', '交差比率', 'コメント', '正味オーダー', '過剰オーダー', '次のオーダー日', '材料消費を含める', and '予測在庫水準(P)'. The '販売実績' (Sales实绩) is set to 0 期間. The '補充方式' (Replenishment Method) is set to '定期(E)' (Periodic).

品目**H8010**を確認します。オーダーサイクルとリードタイムは、両方とも2か月が設定されています(下

記の図を参照)。

分類	品目コード	モデルタイプ	手持ち在庫	在庫日数	受注残	積送在庫	リードタイム	オーダーサイクル	最小ロット	安全在庫	今回のオーダー		需要予測						
							日	月			数量	合価	在庫日数	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月	2016年6月
1	コンクリートブロック	C1020	120	40	10	0	30	1	0	3	56	2800.00	27	100	63	75	71	81	82
2	フェンス	F1020	208	213	0	0	30	1	0	3	0	0.00		25	25	29	29	35	35
3	取っ手	H1010	30	43	0	0	30	1	50	1	50	178.00	124	25	12	12	11	14	15
4	取っ手	H1020	30	4	0	0	30	1	50	11	250	1957.50	35	218	207	263	269	325	305
5	ピンジ	H2010	35	4	0	50	90	1	50	13	350	3689.00	33	240	231	303	320	392	353
6	ピンジ	H2020	20	2	0	0	90	1	50	13	350	7119.00	33	240	231	303	320	392	353
7	釘	H2510	80	15	0	0	30	1	100	6	200	88.00	34	158	174	203	199	224	211
8	釘	H2520	0	0	0	0	30	1	100	4	200	266.00	46	118	120	153	149	162	157
9	ねじ	H2810	20	34	0	0	30	1	100	2	100	175.00	164	18	17	20	18	19	19
10	ねじ	H2830	300	94	0	0	30	1	100	3	0	0.00		99	94	98	89	104	103
11	南京錠	H4010	20	10	100	0	30	1	0	4	145	253.75	63	59	61	79	76	83	81
12	染色液	H7020	20	1	0	60	30	1	0	11	486	918.54	31	501	475	523	509	579	568
13	染色液	H7030	5	0	0	0	30	1	0	7	389	735.21	31	389	382	439	426	472	474
14	塗装装置	H8010	105	34	0	0	60	2	0	4	200	868.00	62	94	91	102	94	107	108
15	塗装装置	H8020	200	380	200	0	60	2	0	1	32	152.32	63	15	14	16	15	18	18
16	接着剤	H9010	230	512	0	0	60	2	0	2	0	0.00		11	13	13	13	16	16
17	バニア合板	L1010	198	8	0	100	90	3	10	21	2230	98,120.00	92	683	644	707	682	770	752
18	バニア合板	L1020	30	58	0	0	60	2	10	1	40	1960.00	62	16	15	19	20	25	24
19	木材	L2010	50	121	0	10	30	1	0	1	0	0.00		11	12	14	13	13	13
20	木材	L2020	5	3	0	0	60	2	0	3	91	12,103.00	63	42	39	46	42	49	50
21	木材	L2030	73	317	5	0	60	2	0	1	0	0.00		6	6	7	7	8	8

手持ち在庫は**105**単位です。この数量は、リードタイムの最初の1か月部分(1月は**94**単位の予測です。)を満たすには十分な量ですが、リードタイムの2か月目では不足しています(2月は**91**単位の予測です。)

レポートの手持ち在庫列と需要予測セクションは、色分けされています。この例の背景色が赤い手持ち在庫セルは、現在の在庫では、リードタイムの需要を満たせないことを意味しています。私たちにできることは、次のオーダーサイクル期間(3月と4月)に補充をすることだけです。したがってGMDHStreamlineは、次のオーダーサイクル期間中の需要を補う**200**単位のオーダーを提案しています。

今回のオーダー 数量の数式は、Excelライクな数式では次のようになります。:

$$\text{今回のオーダー 数量} = \text{MAX}(\text{CEILING}(\text{MAX}(0, \text{オーダーサイクル需要} [\text{リードタイムから開始}] + \text{安全在庫} + \text{受注残} - \text{残り数量}), \text{丸め}), \text{最小ロット}), (1)$$

ここで:

$$\text{残り数量} = \text{MAX}(0, \text{手持ち在庫} + \text{積送在庫} - \text{リードタイム需要})$$

今回のオーダー 数量は、最小ロットを超過している場合丸めにて切り上げられますが、超過しない場合最小ロットとなります。

私たちの例でオーダー数量を計算してみます。この品目は制約がないため、数式は次のようにより簡単になります:

$$\text{今回のオーダー 数量} = \text{オーダーサイクル需要}[\text{リードタイムから開始}] + \text{安全在庫} + \text{受注残} - \text{残り数量}$$

私たちの例では:

$$\text{残り数量} = \text{MAX}(0, 105 + 0 - (94 + 91)) = 0$$

$$\text{今回のオーダー 数量} = (102 + 94) + 4 + 0 - 0 = 200$$

購入計画と予測在庫水準

このセクションでは、次を説明します。:

- 購入計画と予測在庫水準の**予測期間**
- 購入計画計算に**必要なデータ**
- 購入計画と予測在庫水準の**計算方法**

購入計画と予測在庫水準の予測期間

在庫レポートタブを選択し、**購入計画**▢**予測在庫水準**▢**需要予測**セクションを表示します。**設定**ボタンをクリックし、下記に表示されたオプションをクリックし、これを行います。

設定

一般 プロジェクト ABC分析 **在庫** 物流センター

デフォルトリードタイム(L) 30 日

デフォルト オーダーサイクル(O) 1 月

デフォルト 平均保存期限 超過 5 %

安全在庫

次の最大値...

サービス率(S) 98.0 % (2.05-σ-1サイクル)

将来の需要(D) 1.0 月

表示列

リードタイム

オーダーサイクル

最小ロット(I)

最大ロット(X)

丸め(R)

安全在庫設定

最小保存数量

安全在庫負債

保存期限

購入単価

粗利益率

交差比率

コメント

正味オーダー

過剰オーダー

次回のオーダー日

需要予測(E)

材料消費を含める

予測在庫水準(P)

販売実績 0 期間

補充方式

定期(E)

ミニマックス(M)

すべての購入計画を表示(W)

OK キャンセル

ご覧のように、**購入計画**(と**予測在庫水準**)の予測期間は、**予測期間**パラメータである**需要予測**の予測期間より短くなります(下記の図を参照)。

在庫レポート

検索 積送在庫詳細 レポートのエクスポート パラメータのエクスポート パラメータのインポート 購入オーダー 合計購入金額 187,173.32

オーダー	購入計画					需要予測					予測在庫水準					
日	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月	2016年6月	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月
27	56	75	71	81	82	100	63	75	71	81	82	66	78	74	84	85
...	0	0	0	0	0	25	25	29	29	35	35	183	158	129	100	65
124	50	0	0	0	50	25	12	12	11	14	15	55	43	31	20	56
35	250	250	250	350	300	218	207	263	269	325	305	250	293	280	361	336
33	350	400	350			240	231	303	320	392	353	0	0	350	430	388
33	350	400	350			240	231	303	320	392	353	0	0	350	430	388
34	200	200	200	300	200	158	174	203	199	224	211	200	226	223	324	300
46	200	100	200	100	200	118	120	153	149	162	157	200	180	227	178	216
164	100	0	0	0	0	18	17	20	18	19	19	102	85	65	47	28
...	0	0	100	100	100	99	94	98	89	104	103	201	107	109	120	116
63	145	79	76	83	81	59	61	79	76	83	81	65	83	80	87	85

購入計画(と予測在庫水準)の期間は、需要予測計画と比較し、常に $min(\text{リードタイム} + \text{オーダーサイクル}) - 1$ データ集計期間だけ短くなります。ここで $min()$ はすべての品目の最小を意味します。

購入計画計算に必要なデータ

購入計画セクションは、各品目別に計算されます。品目の購入計画を計算する能力は、データの可用性に依存しています。もう少し正確に説明すると、予測期間がリードタイムの倍数であるか否かに依存しています(下記の図を参照)。

はじめに 品目ビュー 一覧ビュー 在庫レポート

検索 設定 フィルター 積送在庫詳細 レポートのエクスポート パラメータのエクスポート パラメータのインポート 購入オーダー 合計購入金額 187,173.32

分類	品目コード	モデルタイプ	手持ち在庫	在庫日数	受注残	積送在庫	リードタイム日	オーダーサイクル月	安全在庫	今回のオーダー			購入計画					
										数量	合価	在庫日数	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月	
1	コンクリートブロック	C1020	季節性と...	120	40	10	0	30	1	3	56	2800.00	27	56	75	71	81	82
2	フェンス	F1020	季節性と...	208	213	0	0	30	1	3	0	0.00		0	0	0	0	0
3	取っ手	H1010	季節性と...	30	43	0	0	30	1	1	50	178.00	124	50	0	0	0	50
4	取っ手	H1020	季節性と...	30	4	0	0	30	1	11	250	1957.50	35	250	250	250	350	300
5	ピンジ	H2010	季節性と...	35	4	0	50	90	1	13	350	3689.00	33	350	400	350		
6	ピンジ	H2020	季節性と...	20	2	0	0	90	1	13	350	7119.00	33	350	400	350		
7	釘	H2510	季節性と...	80	15	0	0	30	1	6	200	88.00	34	200	200	200	300	200
8	釘	H2520	季節性と...	0	0	0	0	30	1	4	200	266.00	46	200	100	200	100	200
9	ねじ	H2810	季節性と...	20	34	0	0	30	1	2	100	175.00	164	100	0	0	0	0
10	ねじ	H2830	季節性と...	300	94	0	0	30	1	3	0	0.00		0	0	100	100	100
11	南京錠	H4010	季節性と...	20	10	100	0	30	1	4	145	253.75	63	145	79	76	83	81
12	染色液	H7020	季節性と...	20	1	0	60	30	1	11	486	918.54	31	486	523	509	579	568
13	染色液	H7030	季節性と...	5	0	0	0	30	1	7	389	735.21	31	389	439	426	472	474
14	塗装装置	H8010	季節性と...	105	34	0	0	60	2	4	200	868.00	62	200	0	215	0	
15	塗装装置	H8020	季節性と...	200	380	200	0	60	2	1	32	152.32	63	32	0	36	0	
16	接着剤	H9010	季節性と...	230	512	0	0	60	2	2	0	0.00		0	0	0	0	
17	パニア合板	L1010	季節性と...	198	8	0	100	90	3	21	2230	98,120.00	92	2230	0	0		
18	パニア合板	L1020	季節性と...	30	58	0	0	60	2	1	40	1960.00	62	40	0	50	0	
19	木材	L2010	季節性と...	50	121	0	10	30	1	1	0	0.00		0	0	0	4	13
20	木材	L2020	季節性と...	5	3	0	0	60	2	3	91	12,103.00	63	91	0	99	0	
21	木材	L2030	季節性と...	73	317	5	0	60	2	1	0	0.00		0	0	0	0	

ご覧のように、強調された品目の購入計画を一部期間について計算できていません(5月のセルが空欄です)。これは、予測期間が最後のリードタイムの一部と重なっていることが原因であり、結果としてGMDH Streamlineは最後の購入オーダーの到着を試算できず、この到着の前までの期間で購入計画を計算します¹⁾□

購入計画と予測在庫水準の計算方法

GMDH Streamlineは、将来の消費と補充イベントをシミュレートして、購入計画と予測在庫水準の計算をします。

先ほどの例と同じ品目**H8010**を考えます。この品目のオーダーサイクルとリードタイムは、両方とも2か月であることを思い出してください。

推奨される補充数量が、テーブル内の購入計画行の各オーダーサイクルの1か月目に表示されています。これらの数量は、期間の初日までにオーダーすべき数量です(下記の図を参照)。

		2015年10月	2015年11月	2015年12月	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月	2016年6月	2016年7月	
展開	折りたたみ											
▼ すべての品目	販売実績	100	110	116								
> ねじ	統計的予測	100	110	117	94	91	102	94	107	108	107	
> ペニア合板	予測調整											
> コンクリートブロック	平均販売単価	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	
> ピンジ	売上金額	567.00	623.70	657.72	532.98	515.97	578.34	532.98	606.69	612.36	606.69	
> フェンス	手持ち在庫			105								
> 南京錠	欠品日数	0	0	0								
> 取っ手	予測在庫水準				11	200	98	219	112	226	119	
> 塗装装置	購入計画				200	0	215	0	222	0	214	
> H8010												
> H8020												
> 屋根												
> 接着剤												

GMDH Streamlineは、現時点で(または、仮に状況に変化がなければ、1月の初日までに)200単位のオーダーを推奨しています。この値の計算方法については、これまでに説明してきました。不足分があるため(手持ち在庫が105単位に対して、リードタイム需要が94 + 91)GMDH Streamlineは2月の最終日時点で200単位の手持ち在庫を期待しています。この数量は、3月と4月の需要を満たすことが目的です(下記の図を参照)²⁾

		2015年10月	2015年11月	2015年12月	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月	2016年6月	2016年7月	
展開	折りたたみ											
▼ すべての品目	販売実績	100	110	116								
> ねじ	統計的予測	100	110	117	94	91	102	94	107	108	107	
> ペニア合板	予測調整											
> コンクリートブロック	平均販売単価	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	
> ピンジ	売上金額	567.00	623.70	657.72	532.98	515.97	578.34	532.98	606.69	612.36	606.69	
> フェンス	手持ち在庫			105								
> 南京錠	欠品日数	0	0	0								
> 取っ手	予測在庫水準				11	200	98	219	112	226	119	
> 塗装装置	購入計画				200	0	215	0	222	0	214	
> H8010												
> H8020												
> 屋根												
> 接着剤												

2月最終日時点の手持ち在庫の200単位と3月の予測の102単位を考慮すると、3月の最終日の在庫水準は、98単位になると予想されます(下記の図を参照)。

		2015年10月	2015年11月	2015年12月	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月	2016年6月	2016年7月	
展開	折りたたみ											
▼ すべての品目	販売実績	100	110	116								
> ねじ	統計的予測	100	110	117	94	91	102	94	107	108	107	
> ペニア合板	予測調整											
> コンクリートブロック	平均販売単価	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	
> ピンジ	売上金額	567.00	623.70	657.72	532.98	515.97	578.34	532.98	606.69	612.36	606.69	
> フェンス	手持ち在庫			105								
> 南京錠	欠品日数	0	0	0								
> 取っ手	予測在庫水準				11	200	98	219	112	226	119	
> 塗装装置	購入計画				200	0	215	0	222	0	214	
> H8010												
> H8020												
> 屋根												
> 接着剤												

次のオーダーサイクル(5月と6月)の需要を満たすため□GMDH Streamlineは、3月の始めまでに**215**単位のオーダーを推奨しています(下記の図を参照)。

	2015年10月	2015年11月	2015年12月	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月	2016年6月	2016年7月
販売実績	100	110	116							
統計的予測	100	110	117	94	91	102	94	107	108	107
予測調整										
平均販売単価	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67
売上金額	567.00	623.70	657.72	532.98	515.97	578.34	532.98	606.69	612.36	606.69
手持ち在庫			105							
欠品日数	0	0	0							
予測在庫水準				11	200	98	219	112	226	119
購入計画				200	0	215	0	222	0	214

この数量は、次の数式(1)から計算されます³⁾□:

$$\text{発注量} = (107 + 108) + 4 + 0 - (200 - 102 - 94) = 215$$

ここで、4月の**94**単位の予測と**215**単位のオーダー到着と3月末の在庫水準が **215**単位であることを考慮すると、4月末の予測在庫水準は**219**単位であると期待できます(下記の図を参照)。

$$\text{在庫水準} = 98 + 215 - 94 = 219$$

	2015年10月	2015年11月	2015年12月	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月	2016年6月	2016年7月
販売実績	100	110	116							
統計的予測	100	110	117	94	91	102	94	107	108	107
予測調整										
平均販売単価	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67
売上金額	567.00	623.70	657.72	532.98	515.97	578.34	532.98	606.69	612.36	606.69
手持ち在庫			105							
欠品日数	0	0	0							
予測在庫水準				11	200	98	219	112	226	119
購入計画				200	0	215	0	222	0	214

あとは、これを繰り返します。

ご覧のように、各期間中に常に**4**単位の安全在庫を持ち続けています。

ここで考えてきた状況は、次のように非常に簡略化された例でした。ロットサイズがなく、リードタイムとオーダーサイクルは、データ集計期間の整数倍でした。

安全在庫

品目**H8010**の検証を続けます。これまで見てきたように、この例の安全在庫はわずか4単位です(下記の図を参照)。

分類	品目コード	モデルタイプ	手持ち在庫	在庫日数	受注残	積送在庫	リードタイム日	オーダーサイクル月	最小ロット	丸め	安全在庫	数量	今回のオーダー 合価	在庫日数	欠品	過剰在庫	
1	ねじ	H2830	季節性ど…	300	94	0	0	30	1	100	100	3	0.00		0	104	
2	接着剤	H9010	季節性ど…	230	473	0	0	60	2	0	2	0	0.00		0	178	
3	フェンス	F1020	季節性ど…	208	208	0	0	30	1	0	3	0	0.00		0	155	
4	塗装装置	H8020	季節性ど…	200	358	200	0	60	2	0	1	32	152.32	63	29	0	
5	ベニア合板	L1010	季節性ど…	198	8	0	100	90	3	10	21	2230	98,120.00	92	1736	0	
6	コンクリートブロック	C1020	季節性ど…	120	40	10	0	30	1	0	3	56	2800.00	27	0	0	
7	塗装装置	H8010	季節性ど…	105	34	0	0	60	2	0	4	200	868.00	62	80	0	
8	屋根	R1004	線形トレンド	100	279	0	0	60	2	0	2	0	0.00		0	55	
9	木材	L2140	一定水準	84	63	0	0	30	1	0	15	11	1694.00	8	0	0	
10	釘	H2510	季節性ど…	80	15	0	0	30	1	100	100	6	200	88.00	34	78	0
11	木材	L2030	季節性ど…	73	308	5	0	60	2	0	1	0	0.00		0	41	

これほど安全在庫が少ない理由が分かりますか?これは、現在の計算方法に理由があります。利用されている計算方法を理解するため、**在庫レポート**タブ ツールバーの**設定**ボタンをクリックしてレポート設定を開きます(下記の図を参照)。

設定

一般 プロジェクト ABC分析 **在庫** 物流センター

デフォルトリードタイム(L) 30 日

デフォルト オーダーサイクル(O) 1 月

デフォルト 平均保存期限 超過 5 %

安全在庫

次の最大値…

サービス率(S) 98.0 % (2.05-σ-√サイクル)

将来の需要(D) 1.0 月

表示列

リードタイム 粗利益率

オーダーサイクル 交差比率

最小ロット(D) コメント

最大ロット(X) 正味オーダー

丸め(B) 過剰オーダー

安全在庫設定 次回のオーダー日

最小保存数量 需要予測(E)

安全在庫負債 材料消費を含める

保存期限 予測在庫水準(P)

購入単価

販売実績 0 期間

補充方式

定期(E) すべての購入計画を表示(W)

ミニマックス(M)

OK キャンセル

計算は設定された98%のサービス率を基準にしていることを確認できます。(つまり、予測される販売の98%に対応できる十分な在庫を意味しています。)

サービス率を利用した安全在庫の計算方法は、Excelライクな数式では次のようになります。:

$$Safety\ stock = CEILING \left(Service\ level\ coefficient \times \delta \times \sqrt{Order\ cycle} \right)$$

ここで:

- 安全係数(Service level coefficient) は、設定されたサービス率から決定されます。
- δ は、学習データに関するモデルの不偏標準偏差です。

オーダーサイクルの値は、計算前にデータ集計期間に変換されています。

この例ではモデルは非常に正確のため、安全在庫 δ はわずか**1.16**です(下記の図を参照)。



したがって、この例では少量の安全在庫の維持が必要です。

$$\text{安全在庫} = \text{CEILING}(2.05 * 1.16 * \text{SQRT}(2)) = 4$$

計算結果の安全在庫が少ないために、この推定量が信用できないと考える場合、ユーザーの指定期間数の需要を安全在庫として考慮させることができます。次の手順に従い、設定します。:

1. メニューより **ファイル > 設定** の選択、または **在庫 タブ** や **在庫レポート** のツールバーにある **設定** ボタンをクリックします。
2. **将来の期間の需要** オプションをクリックします⁴⁾
3. 期間数を入力します。
4. **OK** をクリックします(下記の図を参照)。

The screenshot shows the '設定' (Settings) dialog box with the '在庫' (Inventory) tab selected. The '将来の需要(D)' (Future Demand) option is checked and highlighted with a red box, with a value of 2.01 months. Other options include 'サービス率(S)' (Service Rate) at 98.0%, '表示列' (Columns) with various checkboxes, and '補充方式' (Reorder Method) set to '定期(E)' (Fixed).

期間数は分数で設定できます。

ご覧のように、変更後 **GMDH Streamline** は、即座に安全在庫(さらに在庫レポート全体)を再計算します。ここでは、安全在庫は **215** 単位になりました⁵⁾(下記の図を参照)。

分類	品目コード	モデルタイプ	手持在庫	在庫日数	受注残	積送在庫	リードタイム	オーダーサイクル	最小ロット	丸め	安全在庫期間	安全在庫	数量	今回のオーダー 合価	在庫日数	欠品	過剰在庫
1	ねじ	H2830	季節性...	300	94	0	30	1	100	100	2	187	100	246.00	32	0	0
2	接着剤	H9010	季節性...	230	512	0	60	2	0		2	32	0	0.00		0	148
3	フェンス	F1020	季節性...	208	213	0	30	1	0		2	58	0	0.00		0	100
4	塗装装置	H8020	季節性...	200	380	200	60	2	0		2	36	67	318.92	122	29	0
5	ベニア合板	L1010	季節性...	198	8	0	100	90	3	10	2	1523	3730	164,120.00	155	1736	0
6	コンクリートブロック	C1020	季節性...	120	40	10	0	30	1	0	2	146	199	9950.00	87	0	0
7	塗装装置	H8010	季節性...	105	34	0	60	2	0		2	215	411	1783.74	122	80	0
8	屋根	R1004	線形トレ...	100	280	0	60	2	0		2	22	0	0.00		0	35
9	木材	L2140	一定水準	84	63	0	30	1	0		2	80	76	11,704.00	58	0	0
10	釘	H2510	季節性...	80	15	0	30	1	100	100	2	402	600	264.00	95	78	0
11	木材	L2030	季節性...	73	317	5	60	2	0		2	16	0	0.00		0	26

次へ: プログラム ウィンドウ

PDFダウンロード

1)

翻訳者注釈: そのため最後の購入計画は計算に含まれません。予測期間を十分長めに設定することを強くお勧めします。

2)

翻訳者注釈: GMDH Streamlineは、不足分の需要については対応しません。

3)

翻訳者注釈: 数式中の4は、安全在庫です。

4)

翻訳者注釈: 必要に応じて、サービス率のチェックを外します。

5)

翻訳者注釈: [安全在庫計算方法](#)から、安全在庫は5月と6月の需要の合計値です。

From:
<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/> - **Streamline User Guide**

Permanent link:
<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ja:understanding-the-ir-calculation>

Last update: **2019/03/22 16:46**

